

— 街路樹と御池ビオトープを守り育てる—
まちなかオアシスだより

令和3年9月10日発行

〔実施日〕 令和3年9月10日(火) 9時30分から11時前まで

〔参加者〕 東谷、走り、山野、斉藤（4名：敬称略）

〔ビオトープの整備・育成活動〕

7月下旬から1ヶ月半作業ができませんでしたが、秋のすがすがしい晴天ながらも残暑が強い中で、頑張って作業を行ないました。

〔作業内容〕

◇ 西のエリアでは成長し過ぎた樹木の剪定と茂り過ぎた草の刈り取りを行いました。エリアが広いのでこの日だけでは満足には仕上がりにませんでした。

◇ 東のエリアでは、大きくなりすぎたアジサイの刈り込み、地面を覆いすぎたツユクサ・ミズヒキソウ・イヌタデなどを引き抜きました。

この作業の結果、隠れていたヒオウギ、ヤブラン、ヤマブキ、ホトトギス、などが姿を現しました。

◇ 今回は、中央エリアには手を付けられませんでした。

落ち葉（主に草と枝）回収量：8袋。

〔植物の観察〕

<咲いている花>

◇ 東のエリアでは、今年はジュジュダマが大きく育ち沢山のきれいな実を付けていました。

オミナエシも株を増やしてしっかり育っていました。

草を刈った後に早くもヒガンバナがたくさん花穂を立ち上げているのには驚きました。9月に入って秋の気候が続いているためと推定されます。

<やってきた生き物>

◇ ヤマトシジミがたくさん飛び回っていましたが、それに加えてナミアゲハが一匹やってきて、また帰り際に久し振りにツマグロヒョウモン(メス)が飛来しました。

◇ 西のエリアでは、オオスカシバによく似た緑色の5センチ大のスズメガの終齢幼虫が居たとのことです。

より多くの生き物に来て欲しいですね。

発行者：まちなかオアシスの会

(構成：市民、近隣事業所、NPOビオトープネットワーク京都)

発行日：令和3年9月10日

【御池ビオトープは御池通りの室町～衣棚通り(北側)歩道にあります】